

3月定例会

質疑・一般質問

3月8日、9日の本会議では、質疑5名、一般質問11名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(5月下旬掲載予定)にてご覧いただけます。



平成28年度加西市水道事業会計予算について (議案第35号)

質疑



森元 清蔵 議員
(21 政会)

問 受水費軽減の取り組み状況について。

答 昨年9月の県議会において、県水の引き下げ(平均供給単価5円/㎡)が可決され、加西市では、現行から5.4円引き下げられた124.27円が平成28年度から31年度までの単価となります。

市川町とは、「平成28年度以降の契約単価について、県水受水単価を基本に再協議する」と以前より覚書を交わしており、現在、減額の申し出を行っているところです。

市川町の料金は、1日当たり4,100㎡までが100円/1㎡、それを超えた場合が19円/㎡となっており、1日4,100㎡の責任水量をどこまで引き下げられるかとの交渉をしており、平成27年度中に契約を締結することとしています。

問 平成24年1月と平成26年1月にそれぞれ10%、計20%の値下げを実施しているが、今後の水道料金の軽減について。

答 県水は、5円引き下げにより約1,700万円の受水費減少を見込んでいます。一方、市川町とは、契約が3月に成立すれば、平成28年1月から改定料金を適用することで合意をしています。

今回の値下げを水道料金に反映させたいところですが、受水収益等の減少が見込まれていることに加えて、水道施設の更新や耐震化

の推進が必要であるため、まず、健全経営を優先したいと考えています。

問 配水管布設替工事の計画について。

答 市水道管の総延長は449kmで、うち、耐震性があるのは延長12km(全体の2.6%)、耐震適合管は延長約365km(全体の81%)です。

平成25年度から平成32年度までは、耐震性がないビニール管路の布設替を行い、平成33年度以降は、古い時期に布設された鑄鉄管の非耐震管及び耐震不適合管路を耐震化構造へ布設替する計画をしています。また、地震等の災害時にも市全域で水道水が供給できる配水システムを構築するため、鴨谷配水池の整備設計を行っているところです。